

中期経営計画 個別事業 平成25年度達成状況一覧表

◇評価は、目標を設定している63事業について実施し、中期経営計画に定める目標と、計画期間(平成22～26年度)に実際に達成できる見込みを比較し、次の4段階で表示しています。

①「極めて良好」 ②「概ね良好」 ③「やや遅れている」 ④「未実施」

◇オレンジ色で網かけした個別事業については、「主要事業」と位置付け、「中期経営計画 進捗状況報告書」内でより詳しい進捗状況をご紹介します。

基本的方向性	施策	事業	個別事業	目標	評価	平成25年度事業実績
1 安全・安心で良質な水道水の提供	(1) 水道水源の保全	1 水道水源流域における諸開発などの抑制	① 土地利用に関する諸制度の活用	-	-	「社の都の風土を守る土地利用調整条例」に基づき、開発行為の実施に際して土地利用方針との整合性の確認を行いました。整合性に問題のある開発行為はありませんでした。
			② 公的規制の強化及び適正な施設管理の要請	「水源水質保全協定書」に基づき、定期的に立入調査などを実施します。	概ね良好	産業廃棄物処理施設への立入調査を行うとともに、放流水などの水質監視を実施しました。
		2 水源涵養林の維持管理	① 青下ダム流域の水源涵養林(※)の保育管理 ※降雨を貯留する天然の水源として位置づける森林。	-	-	青下水源地公園における松くい虫被害への対策として、枯木の伐採を優先して実施しました。
	(2) 浄水処理の充実・強化	3 水源保全活動の推進	① お客さまとの協働による水源保全活動【後掲 事業番号35参照】	【後掲】	-	-
			4 高度浄水処理施設の導入	① 高度浄水処理施設の導入	平成22年度までに茂庭浄水場の粉末活性炭注入設備の更新工事を完了します。また、国見、中原、福岡浄水場については、導入についての方針を整理し、必要に応じ事業化に着手します。	概ね良好
		5 安全・良質な水道水供給のための水質目標などの設定	① 安全・良質な水道水供給のための水質目標などの設定	お客さまの声も踏まえた新たな仙台市水道局独自の水質目標などを設定します。	概ね良好	平成24年度に選定した15の水質項目について、評価方法や実現性等の検討を行いました。
	(3) 蛇口における良好な水質の確保	6 貯水槽水道の管理の充実に向けた取り組み	① 貯水槽水道(※)利用者などに対する情報提供 ※受水槽給水方式による建築物の受水槽以降の給水施設の総称。	広報紙やホームページを通じて、貯水槽水道の仕組みや適正な管理の重要性に関する情報提供を継続的に実施します。	概ね良好	広報紙及びホームページを通じて貯水槽水道の仕組みや維持管理の重要性などについての情報提供を行うとともに、貯水槽水道利用者からの要請に応じて水質検査を実施し、その結果をお知らせしました。
			② 貯水槽水道設置者に対する指導・助言	これまでの取り組みの成果を踏まえ、平成22年度に平成23年度以降の事業方針を策定し、引き続き貯水槽水道の適正管理に向けた指導・助言に取り組めます。	概ね良好	事業計画(平成23～25年度)に基づき、有効容量が5㎡超～10㎡以下の貯水槽水道を中心に適正管理を促す指導・助言を実施するとともに、平成26～30年度の事業計画を策定しました。
		7 給水装置に関する積極的な情報提供	① 給水装置に関する積極的な情報提供	平成22年度に情報提供内容や手法などの検討を行い、これに基づき積極的に情報提供していきます。	極めて良好	「地元密着型水道修繕登録店制度」の平成26年度当初の開始に向けた準備作業を行いました。
		8 直結給水方式の普及促進	① 直結給水方式(※)の普及促進 ※配水管から給水管を分岐して敷地内または建物内に引き込み、配水管の水圧をそのまま利用して給水する方式。	-	-	マンション関係者が参加するセミナーやホームページ・広報紙において、また、貯水槽水道設置者に対する助言・指導に合わせて、直結給水方式の普及促進のためのPR等を実施しました。
	(4) 水質管理・危機管理体制の充実	-	鉛製給水管の更新	- 鉛製給水管更新事業【後掲 事業番号20①参照】	【後掲】	-
9 水質管理体制の充実		① 水質検査機器等の整備・更新	水道GLP体制を維持し、水質検査の精度を確保するため、計画的な機器等の整備・更新を実施していきます。	極めて良好	水質検査の精度を確保するため、ガスクロマトグラフ質量分析計や液体クロマトグラフ質量分析計など、老朽化した水質検査機器の更新を行いました。	
		10 保安体制の充実	① 保安体制の充実	配水所などの無人の水道施設を中心に、監視警報装置などによる機械警備を実施します。	概ね良好	浄配水系無人施設の機械警備業務委託を継続的に実施しました。
		11 「(仮称)仙台市水道局水安全計画」の策定	① 「(仮称)仙台市水道局水安全計画」の策定	平成22年度までに「(仮称)仙台市水道局水安全計画」を策定します。	概ね良好	「仙台市水道局水安全管理対応マニュアル」(水安全計画)の運用を開始し、PDCAサイクルに基づく検証や見直しを実施しました。

基本的方向性	施策	事業	個別事業	目標	評価	平成25年度事業実績
2 安定・信頼の水道システムの確立	(1) 水運用機能の強化	12 水運用機能強化のための施設整備	① 配水幹線(※)の整備 ※浄水場や配水所と配水ブロックを結ぶ口径400mm以上の基幹となる配水管のうち、特に重要な路線について個別に名称を与えたもの。	約7.7kmの配水幹線を整備します。	概ね良好	約0.1kmの配水幹線を整備しました。
			② 水系二重化のための施設整備(広域水道単独水系)	平成22年度までに、宮城県仙南・仙塩広域水道から受水している太白配水所系の単独配水区域を解消するための施設を整備します。	極めて良好	坪沼配水所系の単独配水区域を検討するための詳細設計に着手しました。
	13 配水ブロックの再編成	① 配水ブロック(※)の再編成 ※十分な水量と適正な水圧を確保するため、需要量や地形などを考慮し配水区域を分割したものの。	12箇所の配水ブロック再編成を行い、平成26年度末の総ブロック数を134箇所とします。	概ね良好	「郡山南部ブロック」の新設と「郡山ブロック」の廃止を行いました。	
			14 施設実態的的確な把握と情報管理の充実	① 導水施設(※)の実態調査 ※水道施設のうち、水源の取水施設で取水した水を浄水場まで導く施設。	有効な実態調査の手法について情報収集・検討を行い、計画期間内に手法を含めた調査方針を整理します。	極めて良好
	② 管理設環境の実態調査	管理設環境に関する情報を充実させ、管路更新や維持管理に活用します。		概ね良好	引き続き、管理設環境に関する情報の収集を行いました。	
	③ 建築物等の施設劣化調査	建築物等の劣化状況の情報を的確に把握し、最適な補修・修繕に活用します。		概ね良好	国見浄水場や卸町庁舎など38施設の施設劣化調査を実施するとともに、建築保全システムの改良・更新について検討を開始しました。	
	④ アセットマネジメントの考え方に基づく取り組み【後掲 事業番号43参照】	【後掲】		-	-	
	15 維持管理の充実	① 浄水施設設備の補修・修繕	計画的な補修・修繕を行います。	概ね良好	国見1～3号沈澱池攪拌機及び混葉井駆動部修繕工事、中原ろ過池内壁漏水修繕工事、福岡表洗ポンプ修繕工事などを実施しました。	
			② 送・配水施設設備の補修・修繕	計画的な補修・修繕を行います。	概ね良好	ゴム可とう管修繕(高森8丁目)、鉤取山送水管管体調査・塗装替工事、埋設型伸縮管の実態調査(六丁の目西町交差点)などを実施しました。
	16 漏水防止事業の推進	① 漏水調査	平成26年度の漏水率4.3%(平成20年度実績4.9%)を目指します。	極めて良好	漏水調査地区を選別抽出し、約1,887kmの給・配水管路について漏水調査を行いました。	
			② 電気防食装置の設置	25箇所の設置工事を行い、必要箇所の設置を完了します。	概ね良好	6箇所に電気防食装置を設置しました。
	17 浄水施設設備の更新・改良	① 茂庭浄水場施設設備の更新・改良	計画的な更新・改良を行います。	概ね良好	次亜塩注入設備更新工事及び導水路電気防食設備設置工事を完了しました。	
			② 国見浄水場施設設備の更新・改良	計画的な更新・改良を行います。	概ね良好	平成23～24年度に行った実施設計委託を基に、PAC・次亜塩・消石灰注入設備更新工事の着手に向けた現場再調査及び設計書の精査を行いました。
			③ 中原浄水場施設設備の更新・改良	計画的な更新・改良を行います。	極めて良好	非常用自家発電装置の燃料タンク増設工事に着手しました。
			④ 福岡浄水場施設設備の更新・改良	計画的な更新・改良を行います。	概ね良好	浄水場監視制御システム更新工事(その1)を完了し、同工事(その2)に着手するとともに、次亜塩注入設備更新工事及び取水場施設更新工事の実施設計を完了しました。
	18 送・配水施設設備の更新・改良	① ポンプ場・配水所等施設設備の更新・改良	計画的な更新・改良を行います。	概ね良好	館送水ポンプ場の受変電・自家発・ポンプ設備の更新工事に着手しました。	
			② 緊急遮断弁(※)の設置 【後掲 事業番号24参照】	【後掲】	-	-
			③ 横型仕切弁(※)の更新 ※管路内の水の流れを制御する制水弁の一種。	3箇所の横型仕切弁を更新します。	極めて良好	大年寺地内において横型仕切弁の更新を行いました。
			④ 配水流量計の更新	31箇所の配水流量計を更新します。	概ね良好	3箇所の配水流量計を更新しました。

基本的方向性	施策	事業	個別事業	目標	評価	平成25年度事業実績
2 安定・信頼の水道システムの確立（続き）	(2) 施設の適正な維持管理と計画的な更新（続き）	19 管路の更新	① 配水幹線更新	約3.0kmの配水幹線を更新します。	概ね良好	約0.2kmの配水幹線を更新しました。
			② 老朽管更新（無ライニングダクタイル鑄鉄管）	約19.4kmの無ライニングダクタイル鑄鉄管を更新し、おおむね解消します。	概ね良好	約2.3kmの無ライニングダクタイル鑄鉄管を更新しました。
			③ 老朽管更新（老朽ダクタイル鑄鉄管・ポリエチレンスリーブ被覆なし等）	約7.2kmのポリエチレンスリーブ被覆のないダクタイル鑄鉄管等を更新します。	極めて良好	約1.2kmのポリエチレンスリーブ被覆のないダクタイル鑄鉄管等を更新しました。
			④ 老朽管更新（塩化ビニル管：TS継手）	約39.6kmの塩化ビニル管（TS継手）を更新します。	極めて良好	約10.5kmの塩化ビニル管（TS継手）を更新しました。
	(2) 施設の適正な維持管理と計画的な更新（続き）	20 鉛製給水管の更新	① 鉛製給水管更新事業	13,500件の鉛製給水管の更新工事を行います。	概ね良好	2,494件の鉛製給水管の更新工事を実施しました。
			21 水道基幹施設の耐震化	① 浄水施設の耐震化	平成25年度までに茂庭浄水場系統の耐震化を完了します。	概ね良好
	② 配水施設の耐震化	荒巻配水所、大年寺山配水所の耐震化を完了するほか、その他の配水所についても優先度の高いものから耐震性の把握を行い、耐震化計画を策定します。		概ね良好	将監第一配水所など11施設の耐震診断を行い、耐震性能を把握しました。	
	③ 建築物耐震改修促進事業	水道局所管の対象施設の耐震化を完了します。		概ね良好	耐震補強が必要な施設（将監送水ポンプ場1棟）について、耐震補強工事を実施しました。	
	(3) 施設の耐震化	22 管路の耐震化	- 配水幹線更新【再掲 事業番号19①参照】	【再掲】	-	-
			- 老朽管更新（無ライニングダクタイル鑄鉄管）【再掲 事業番号19②参照】	【再掲】	-	-
			- 老朽管更新（老朽ダクタイル鑄鉄管・ポリエチレンスリーブ被覆なし等）【再掲 事業番号19③参照】	【再掲】	-	-
			- 老朽管更新（塩化ビニル管：TS継手）【再掲 事業番号19④参照】	【再掲】	-	-
			① 災害拠点病院などへの管路耐震化	災害拠点病院など9箇所の医療機関への管路を耐震化します。	極めて良好	NTT東日本病院、仙台赤十字病院及びJR仙台病院への管路を耐震化しました。
			② 水管橋・添架管の耐震化	15箇所の水管橋・添架管を耐震化し、配水幹線等の水管橋・添架管の耐震化を完了します。	概ね良好	斉勝川橋添架管の耐震補強工事の手法について検討を行いました。
	(4) 応急給水・応急復旧体制の充実	23 災害時の情報通信機能の強化	① 通信設備の整備	平成23年度に、市街地域の無線通信をカバーする無線基地局や中継無線局間の通信経路の強化工事を完了します。	概ね良好	業務用中継回線のうち4区間の無線化が完了し、運用を開始しました。
			24 応急給水体制の充実	① 災害時給水施設の設置	10箇所の災害時給水施設を設置します。	極めて良好
		- 緊急遮断弁（※）の設置 ※大規模地震や管路の破裂などにより、一度に多量の水道水が流出した際に、自動的にバルブを閉止して水道水の流出による二次災害防止と水道水の一定容量確保を図るための弁。		5箇所の配水所に緊急遮断弁を設置します。	概ね良好	2箇所（鉤取山配水所、錦ヶ丘配水所）への緊急遮断弁の設置工事を完了しました。
		② 注水補給基地の整備		4箇所の注水補給基地を整備します。	概ね良好	福岡浄水場内に注水補給基地を整備しました。

基本的方向性	施策	事業	個別事業	目標	評価	平成25年度事業実績	
2 安定・信頼の水道システムの確立（続き）	(4) 応急給水・応急復旧体制の充実（続き）	25 応急復旧体制の充実	① 応急復旧資機材の備蓄	平成22年度に、さらに備蓄が必要な応急復旧資機材の検討を行い、備蓄計画を策定し、これに基づく計画的な備蓄を進めます。	概ね良好	経年劣化した応急復旧資機材について、補修の可否を判断するとともに、災害時における資機材の供給について管材料・補修材料のメーカーにヒアリングを行いました。 また、長期停電対策として中原浄水場・大年寺山配水所の自家発燃料タンク増設工事に着手したほか、その他施設の実施設計等を行いました。	
		26 職員訓練の充実	① 防災訓練の実施	水道局職員向けの防災訓練をより充実させます。	概ね良好	水道局職員の災害対応力の更なる向上を図るため、震災を踏まえて改訂した「仙台市水道局危機管理マニュアル」に基づく訓練を実施しました。	
		27 多様な主体との連携による災害対応力の向上	① 他都市などとの合同防災訓練の実施	すでに実施している合同防災訓練などを継続するほか、他の水道事業者や応援協定を締結している団体など、新たな団体との合同防災訓練を実施します。	概ね良好	札幌市水道局や新潟市水道局を始めとする各種団体との合同防災訓練を実施しました。	
			② お客さまの防災訓練機会の充実	より多くのお客さまに応急給水訓練に参加できる機会を提供します。	概ね良好	町内会で実施する防災訓練、宮城地区で開催された地区のイベントなどに参加し、お客さまに応急給水を体験する機会の提供と水道局の災害対策についての説明を行いました。(回数: 防災訓練9回+地区のイベント1回)	
		28 災害に関する情報提供の充実	① 災害に関する情報提供の充実	定期的な情報交換や合同防災訓練を実施します。	概ね良好	マニュアル送付による情報提供や、合同防災訓練を実施するとともに、活動内容についての検討を継続し、課題の整理を行いました。	
	(5) 水道システム再構築に向けた検討	29 水道システム再構築の検討	① 浄水・配水施設の機能診断	水道施設の現況機能水準を定量化する、現況機能評価調査を実施します。	概ね良好	主要4浄水場の機能診断を実施しました。	
			② 国見浄水場の更新検討	検討に必要な情報についての調査、整理を行い、検討に着手します。	概ね良好	工事台帳の整理(竣工～平成19年度分)を行いました。	
	3 お客さまの視点に立った事業運営	(1) お客さまの利便性の向上	30 水道修繕受付サービスの向上	① 水道修繕受付センターの設置 【後掲 事業番号39参照】	【後掲】	-	-
			31 水道料金の支払い方法の拡充	① 水道料金の支払い方法の拡充	-	-	クレジットカード決済導入時の費用対効果について検証を行ったところ、支払方法の多様化によるサービス向上の効果に比べ、導入時及び運用におけるコストの負担が大きくなることを見込まれるため、導入の判断には至りませんでした。
			32 給水区域内水道未使用者の解消促進	① 給水区域内水道未使用者の解消促進	-	-	水道未使用者の情報について、引き続きGIS(地理情報システム)による位置情報の確認・修正などを行い、データの精度向上に努めました。
(2) 広報・広聴機能の充実		33 お客さまとの相互理解を深める広報	① 事業・水質などの情報の積極的な提供	広報紙の全戸配布を継続するとともに、ホームページアクセス件数の増加を目指します。	概ね良好	広報紙「仙台の水道H2O」の全戸配布(年3回)を引き続き実施するとともに、ホームページの拡充や見直しを行いました。また、仙台市水道の特長・取り組みを紹介する一般向けの新たなパンフレットや水備蓄の啓発・仙台の水道水のおいしさPRのための水道水ポトルドウォーターを作成しました。	
			② 水道施設広報の充実	浄水場への見学者数の増加を目指します。	概ね良好	浄水場における見学者の受け入れや、浄水場職員による小学校での「出前水道教室」を引き続き実施するとともに、水道施設広報の充実に向け、水道記念館の展示改善や青下水源地の活用検討を進めました。	
(3) お客さまとの協働による事業の推進		34 お客さまの声を活かした水道づくりのための広聴	① お客さまの声の的確な把握等と事業への継続的反映	お客さまの声を的確に把握し、積極的に施策に反映していきます。	概ね良好	お客さまのニーズを把握するため、引き続き広報紙によるアンケートの実施(年1回)や水道モニター会議の開催(年4回)を行うとともに、ホームページ、窓口、電話などさまざまな経路で寄せられるお客さまのご意見を施策に反映するよう努め、改善事例をホームページへ掲載しました。	
			35 お客さまとともに進める事業運営	- お客さまとの協働による水源保全活動	より多くのお客さまに参加いただける水源保全活動を実施するほか、環境関連のNPO団体などの協働事業などを実施します。	概ね良好	水道モニターや一般の方々にご参加いただいた釜房ダム湖畔清掃、地元町内会の方々で行った青下ダム周辺の清掃活動などを実施したほか、市民団体との協働による公募ツアーの実施に向けた検討を行いました。
- お客さまの防災訓練機会の充実 【再掲 事業番号27②参照】	【再掲】	-		-			

基本的方向性	施策	事業	個別事業	目標	評価	平成25年度事業実績	
4 環境に配慮した事業運営	(1) 地球温暖化防止に向けた取り組みの推進	36 環境負荷低減策の推進	① エネルギーの有効活用	施設設備の更新に合わせて、省エネルギー型機器への切り替えを進めます。また、再生可能エネルギーの導入として、太陽光発電設備の設置について検討するほか、小水力発電や動力回収などについても事業化について検討し、導入方針を決定します。	極めて良好	省エネルギー型機器への切り替えについては、水質検査センターにLED照明設備を導入するなどの取り組みを行いました。また、再生可能エネルギーの導入については、浄水場への太陽光発電設備の導入計画を決定したほか、安養寺配水所への小水力発電設備設置工事や、上追沢沈砂池における官民連携による小水力発電事業に着手しました。	
			- 直結給水方式の普及促進 【再掲 事業番号8①参照】	【再掲】	-	-	
			② 公用車更新時における低公害車の導入	-	-	11台の公用車を低公害車等に更新しました。	
	(2) 資源の有効活用	37 浄水発生土の有効活用	① 浄水発生土の有効活用	茂庭、国見、中原浄水場における浄水処理で発生する浄水発生土の有効活用を引き続き実施します。	概ね良好	茂庭、国見、中原、福岡浄水場の浄水発生土について、発生土の放射性物質濃度に応じた有効活用を実施するとともに、新たな有効活用策の検討を進めました。	
			- 土地利用に関する諸制度の活用 【再掲 事業番号1①参照】	【再掲】	-	-	
			- 公的規制の強化及び適正な施設管理の要請 【再掲 事業番号1②参照】	【再掲】	-	-	
			- 青下ダム流域の水源涵養林の保育管理 【再掲 事業番号2①参照】	【再掲】	-	-	
			- 水源保全活動の推進 【再掲】	- お客さまとの協働による水源保全活動 【再掲 事業番号35参照】	【再掲】	-	-
			- 漏水防止事業の推進 【再掲】	- 漏水調査 【再掲 事業番号16①参照】 - 電気防食装置の設置 【再掲 事業番号16②参照】	【再掲】 【再掲】	- -	- -
	(4) 環境マネジメントシステムの推進	38 環境報告書の作成	① 環境報告書の作成	平成22年度に掲載内容や公表方法などの検討を行い、平成23年度から作成・公表していきます。	概ね良好	平成24年度の実績に基づき、環境報告書を作成・公表しました。	
	5 経営基盤の強化	(1) 事業運営の効率化	39 維持管理の効率化	① 浄水場運転管理業務の効率化	-	-	将来的な水需要の減少を見据えた、浄水場の今後のあり方について検討を進めました。
				② 給水装置関連業務の第三者委託	平成23年度から給水装置関連業務の第三者委託を実施します。	概ね良好	引き続き給水装置関連業務の第三者委託を実施するとともに、受託業者と業務改善策の検討を進めました。
- 水道修繕受付センターの設置				計画期間内に(仮称)水道修繕受付センターを開設します。	概ね良好	水道修繕受付センターに係る運営形態・業務内容等の詳細について確定させるとともに、平成26年度当初の開設に向けた準備作業を行いました。	
③ 断水・洗管業務の見直し				請負業者の対象工事を拡大し、請負化を進めます。	-	震災の経験を踏まえ、断水・洗管業務の技術力を水道局内部で継承していくため、目標である請負化の方針を変更し、直営を継続することとしました。	
40 公共事業総合コスト構造の改善			① 公共事業総合コスト構造の改善	「仙台市公共事業コスト構造改善プログラム」に基づき、総合コスト構造の改善を実施します。	概ね良好	「仙台市公共事業コスト構造改善プログラム」に基づき、耐用年数が高い新耐震管の試験施工を行うなどの改善策を実施しました。	
41 新たな事業手法の導入検討	① 新たな事業手法の導入検討	-	-	上追沢沈砂池における官民連携による小水力発電事業の実施に向けて、公募型プロポーザル方式により事業者を決定し、事業実施に関する基本契約を締結しました。			

基本的方向性	施策	事業	個別事業	目標	評価	平成25年度事業実績
5 経営基盤の強化（続き）	(2) 財政基盤の強化	42 資産の活用・処分	① 資産の活用・処分	-	-	市及び水道局ホームページに「貸付地」などの物件情報を掲載し広く公募を行うなど、未利用地の有効活用や処分を図りました。
		43 水道施設のライフサイクルコスト縮減に向けた取り組み	- アセットマネジメントの考え方に基づく取り組み	-	-	浄水施設の機能診断や管路・施設の将来的な更新需要の試算、アセットマネジメント推進に向けた課題の整理などを行いました。
		44 料金制度の見直し	① 料金制度の見直し	料金制度見直しの方向性について方針を決定します。	概ね良好	水需要の減少傾向や今後増大が見込まれる施設の更新需要を踏まえた長期的な財政収支見直しに基づき、料金制度見直しの方向性についての検討を行いました。
	(3) 人材育成・技術継承の推進	45 職員研修などの充実	① 職員研修の充実	より効果的な研修を計画的に実施します。	概ね良好	「仙台市水道マンパワー向上プラン」に基づき、年間事業計画を策定して進捗管理を行うとともに、研修の計画的・効果的な実施と内容の充実に取り組みました。
			② 自己啓発による資格取得の奨励	平成22年度に資格取得を支援する制度を創設します。	概ね良好	「資格取得受験料等助成制度」を運用し、自己啓発による資格取得の促進を図りました。
			③ 体験型研修施設の整備	平成22年度に配水系の体験型研修施設を整備します。	概ね良好	給配水技術研修施設における体験型研修を実施しながら、実技指導員の育成や研修内容の充実に取り組みました。
6 新たな視点に立った事業運営	(1) 広域化・広域連携の強化	46 宮城県仙南・仙塩広域水道との連携強化	① 宮城県との技術提携の推進	-	-	宮城県が主催する「仙南・仙塩広域水道危機管理等検討会」などを通じ、東日本大震災の被害を踏まえた広域水道の危機管理対策について協議を行いました。
		47 近隣水道事業者との連携強化	① 近隣水道事業者との連携強化	-	-	近隣水道事業者との連携強化を図るため、「仙塩地区水道対策協議会」における合同勉強会を開催しました。
			② 職員研修所の活用方法の検討	-	-	広域的な視点で人材育成・技術継承を進めるため、県内水道事業者の技術職員を対象に職員研修所を活用した実技講習会を開催しました。
	(2) 国際貢献の推進	48 国際貢献の推進	① 国際貢献の推進	-	-	JICA等を通じた海外技術研修員の受け入れを行うとともに、IWA-ASPIRE（国際水協会 アジア太平洋地域会議）における発表など、東日本大震災の経験を踏まえた情報発信を積極的に行いました。